

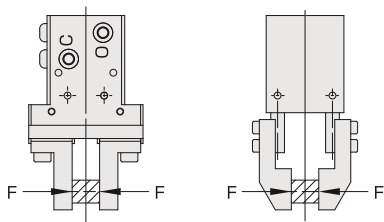
技術資料 —ハンド・ロータ用語説明—

ハンド用語説明

カタログ中に使用されているハンドの用語と説明を以下に記します。

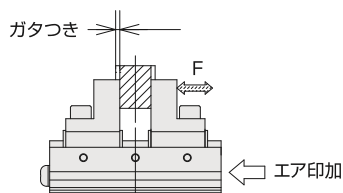
把持力

把持されたワークが、把持を行うレバーの間で釣り合っており、合力を生じない力を表します。



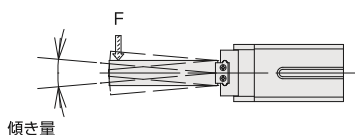
平行ガタ

ハンドにエアを印加しワークを把持している状態で、ワークもしくはレバーに閉閉方向の外力を加えると若干のガタツキが生じます。これを平行ガタと言います。



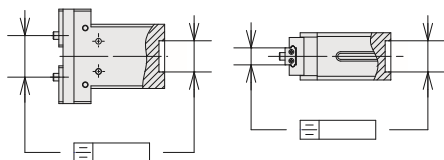
上下ガタ

閉閉方向に対して鉛直方向の曲げモーメントをレバーに作用させたときのレバーの傾き量を表します。



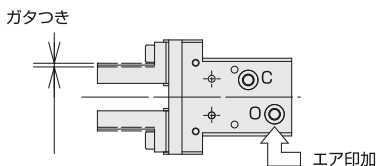
センタリング精度

ワークを把持した状態で、ワークの中心とハンド本体の位置決め穴の中心の振れ量を表します。(使用するアタッチメントの位置決めは、閉閉方向をピン、上下方向をレバーの幅で行った状態です。センタリング精度にアタッチメントの精度は含みません)



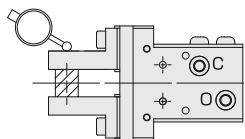
閉閉ガタ

ハンドにエアを印加しワークを把持していない状態では、レバーの開閉方向に若干のガタツキがあります。これを閉閉ガタと言います。



繰返し精度

同一のワークを10回繰返し把持した場合のワーク(レバー)の位置の振れ量を表します。(アタッチメントのたわみは含みません。)



ロータ用語説明

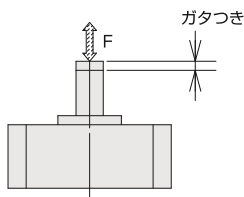
カタログ中に使用されているロータの用語と説明を以下に記します。

実効トルク

理論出力トルクに摩擦抵抗を考慮した出力の目安を表します。

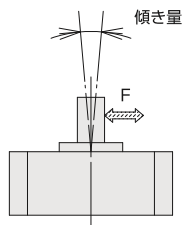
スラストガタ

ロータの旋回軸に対し、同軸方向に荷重を加えた場合のガタつき量を表します。



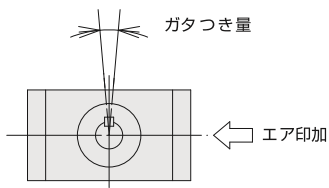
ラジアルガタ

ロータの旋回軸に対し、垂直方向に荷重を加えた場合の傾き量を表します。



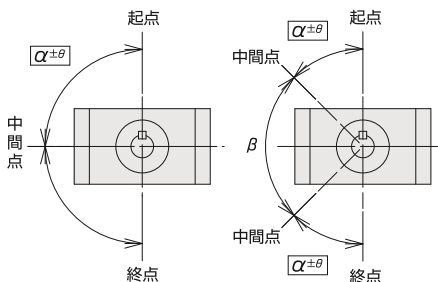
バックラッシュ

エアを印加して旋回端で停止している旋回軸の回転方向のガタつきを表します。



α角設定精度

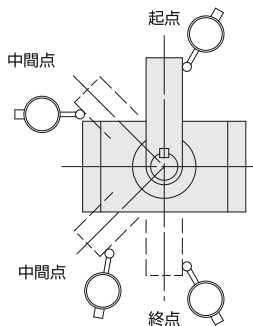
中間停止形ロータにおけるα角の実際に揺動する角度の公差を表します。α角設定精度は製品組立時の許容精度であるため、製品完成後に調整することはできません。以下に各サイズのα角設定精度を記します。



サイズ	10, 13, 14	16, 18, 22
α角設定精度(θ)	±1.5°	±1°

繰返し角度精度

各旋回端にて10回繰返し停止した場合の、停止角度の振れ量を表します。



サイズ	全サイズ
繰返し精度	±0.1°